

2025 年度

看護師特定行為研修

募集要項



公益社団法人
大阪府看護協会

2025 年度 公益社団法人 大阪府看護協会 特定行為研修

I. 特定行為に係る看護師の研修（以下、特定行為研修）の概要

1. 教育理念

チーム医療のキーパーソンである看護師が患者及び国民、並びに医師及び歯科医師その他の医療関係者から期待される役割を十分に担えるよう、医療安全に配慮し、在宅を含む医療現場において、人間への深い洞察と高度な臨床実践能力を発揮するための、自己研鑽を継続する基盤を構築する。

2. 教育目的

- 1) 地域医療および高度医療の現場において特定行為を行う上で、病態変化や疾患の迅速かつ包括的なアセスメントを行うための知識、技術、態度の基礎的能力を養う。
- 2) 患者の安心に配慮しつつ、必要な特定行為を安全に実行できる能力を養う。
- 3) 医師を含む多職種との連携において、協同し各専門職が効率的・効果的に医療・看護ケアを実践できるようコーディネート力を養う。
- 4) 常に看護実践を内省し、主体的に学び続ける姿勢を持つと共に、社会に貢献していく責任及び役割の自覚を強化する。
- 5) 医師又は歯科医師より手順書による指示を受け、実施の可否の判断、実施及び報告の一連の流れを適切に行うための基礎的な実践能力を養う。

3. 本機関における特定行為研修の特徴

厚生労働省の提示する教育カリキュラムに則り、講義・演習・実習により構成する。

- 1) 「共通科目」と10の「区分別科目」を実施する。
- 2) 令和元年以降の厚生労働省省令の一部改正により、現場での活用に資する、実施頻度の高い特定行為を領域別パッケージコースとして開講する。また領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」のみ、2025年度から専門看護師・認定看護師以外に、在宅領域で概ね臨床経験5年以上従事する看護師を含めて募集する。
- 3) 研修形態は、eラーニングでの講義と演習・実習、連携協力施設における臨地実習で構成する。
- 4) 研修場所は、大阪府看護協会ナースングアート大阪とし、高度な技術習得と実践力の強化を目指し、医療研修施設「ニプロ iMEP(アイメップ)」を使用する。 ※iMEP は場所・教材の提供のみ
- 5) 臨地実習は、受講者の所属する施設で実施することを原則とする。

実習施設は、当協会の連携協力施設として、連携協力体制(指導者、医療安全管理、緊急時の対応、患者への同意説明体制、該当症例数の確保等の要件を満たす体制)に関する書類を作成し、それを当協会より近畿厚生局に申請する。実習施設で該当区分の症例数が確保できない、指導医がいないなどの理由で自施設実習が困難な場合は連携のとれる協力機関を確保しておく。

4. 研修内容

1) 研修受講要件(以下のいずれかの要件を満たすこと)

- ① 日本看護協会の認定看護師制度に基づく認定看護師の資格を持つ者
- ② 日本看護協会の専門看護師制度に基づく専門看護師の資格を持つ者
- ③ 領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」のみ、在宅や介護施設の領域で概ね臨床経験5年以上従事している者

④既に特定行為研修を修了し、新たに別の区分別科目のみを選択する者

2)定員 総数 50 名

3)実施日程(予定)

2025 年 4 月	開講式
4 月～ 7 月	共通科目 : eラーニングによる集合研修
7 月～ 9 月	区分別科目: eラーニングによる集合研修
9 月～12 月	区分別科目: 臨地実習 ※1
2026 年 2 月	修了式

※1 臨地実習は、全ての講義・演習・観察評価・実技試験(OSCE)の合格後となるため、選択した区分別科目によって開始時期や実習期間が異なる。また、実習期間内に必要な症例数(5症例以上)を経験する必要がある。

4)受講の選択方法

対象者	選択可能なコース	教育訓練給付金(特定一般)
専門看護師 認定看護師	基本コースを選択(共通科目+区分別科目「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」)	
	基本コースに加え、区分別科目を選択	
	区分別科目のみを選択	
	領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」を選択	対象※となる
	領域別パッケージコース「救急領域」を選択	
	領域別パッケージコースに加え、区分別科目を選択	
在宅領域に従事している看護師	領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」のみ選択	対象※となる

※教育訓練給付金(特定一般)について(指定申請中)

領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」は教育訓練給付金(特定一般)の対象となる。しかし、領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」と一緒に他の区分別科目を選択した場合、選択した区分別科目は教育訓練給付金(特定一般)の対象外となるため注意する。

5)各コースの履修時間

【専門看護師・認定看護師の基本コース】

履修科目		指定時間数
共通科目	臨床病態生理学	30 時間
	臨床推論	45 時間
	フィジカルアセスメント	45 時間
	臨床薬理学	45 時間
	疾病・臨床病態概論	40 時間
	医療安全学/特定行為実践	45 時間
区分別科目	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 (必須)	16 時間
総時間数(共通科目 250 時間+区分別科目 16 時間)		266 時間

【専門看護師・認定看護師の選択コース】

基本コースの受講に加え、区分別科目や領域別パッケージコースを選択できる。

基本コースを修了している者は、区分別科目を選択できる。

区分別科目名	指定時間数
呼吸器(気道確保に係るもの)関連	11 時間
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29 時間
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	10 時間
創傷管理関連	37 時間
動脈血液ガス分析関連	17 時間
感染に係る薬剤投与関連	31 時間
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間
循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35 時間

領域別パッケージコース 「在宅・慢性期領域」		指定時間数
共通科目		250 時間
区分別科目	1.気管カニューレの交換	10 時間
	2.胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	20 時間
	3.褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	28 時間
	4.脱水症状に対する輸液による補正	11 時間
総時間数(共通科目 250 時間+区分別科目 69 時間)		319 時間

領域別パッケージコース 「救急領域」		指定時間数
共通科目		250 時間
区分別科目	1.経口用気管チューブ又は経鼻用気管用チューブの位置の調整	11 時間
	2.侵襲的陽圧換気の設定の変更	29 時間
	3.非侵襲的陽圧換気の設定の変更	
	4.人工呼吸管理がなされている者に対する鎮静薬の投与量の調整	
	5.人工呼吸器からの離脱	
	6.直接動脈穿刺法による採血	17 時間
	7.橈骨動脈ラインの確保	11 時間
	8.脱水症状に対する輸液による補正	
	9.抗けいれん剤の臨時の投与	
総時間数(共通科目 250 時間+区分別科目 89 時間)		339 時間

【在宅領域で臨床経験5年以上従事する看護師の選択コース】

領域別パッケージコース 「在宅・慢性期領域」		指定時間数
共通科目		250 時間
区分別科目	1.気管カニューレの交換	10 時間
	2.胃ろうカテーテルもしくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換	20 時間
	3.褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去	28 時間
	4.脱水症状に対する輸液による補正	11 時間
総時間数（共通科目 250 時間+区分別科目 69 時間）		319 時間

5. 受講上の留意点

- ・受講決定後は原則、受講科目の変更・追加は認めない。
- ・専門看護師・認定看護師の分野に関係なく、個々の活動の場のニーズに応じて区分別科目を選択することが可能である。また、1区分のみの履修も可能である。
- ・特定行為研修を修了している者であれば、区分別科目のみの受講も可能である。

II. 応募方法

1. 出願手続き

「2025 年度 特定行為研修 募集要項」から各様式をダウンロードし応募する。

2. 出願提出書類

1) 受講申請書類一式

- | | |
|--|----------|
| (1) 受講申請書 | (様式 1) |
| (2) 履歴書 | (様式 2-1) |
| (3) 希望する区分別科目に関する施設情報・受講動機 | (様式 2-2) |
| (4) 受講申請許可書(受講同意書) | (様式 3) |
| (5) 推薦書 | (様式 4) |
| (6) 入学審査料払込通知 | (様式 5) |
| (7) 看護師免許証の写し(A4 版縮小コピー) | |
| (8) 認定看護師認定証又は専門看護師認定証の写し(A4 版縮小コピー) | |
| (9) 特定行為研修修了書の写し(選択コースのみの受講希望者(A4 版縮小コピー) | |
| (10) 審査合否結果送付用封筒(長形 3 号封筒 120×235mm、460 円分切手貼付、本人の住所・氏名を明記、「簡易書留」と朱書き) | |
| (11) 出願書類確認用紙(確認欄チェック入り) | |

3. 出願書類提出方法

封筒の表に「特定行為研修受講申請書在中」と明記の上、簡易書留で下記まで郵送すること。

〒536-0014 大阪市城東区嶋野西 2-5-25

公益社団法人 大阪府看護協会 教育部 特定行為研修担当

4. 出願期間 2024年12月2日(月) ～ 2025年1月17日(金) 17時必着

5. 審査料納付方法

- 1) 審査料 22,000 円(税込) ※日本看護協会非会員の審査料は2倍とする。
- 2) 納付期限 2024年12月2日(月)～2025年1月17日(金)
- 3) 振込先 郵便局の場合は振込取扱票に、銀行の場合は振込依頼人名義の前に「受験者氏名」を明記し、下記口座へ振込む。
受領証のコピーを提出(様式5に貼付)する。
振込手数料は受験者負担とする。

◎ゆうちょ銀行 口座番号:00980-6-93268 加入者名:公益社団法人 大阪府看護協会
--

4) 注意事項

- ・既納の審査料は原則として返還しない。
- ・「振込受領証」をもって審査料の領収書とする。

Ⅲ. 選考方法

1. 選考方法 書類審査
2. 合否発表 2025年1月31日(金)に本人宛に合否結果を簡易書留にて発送する。
ただし、審査の結果、希望した区分別科目を受講できない場合がある。

IV. 研修受講料について

1. 入学金 30,000 円(税抜)

※大阪府看護協会にて特定行為研修、クリティカルケア認定看護師教育課程、感染管理認定看護師教育課程の修了者は、入学金を免除する。

2. 受講料一覧

コース名	科目名	時間	金額(円)(税抜)
基本コース	共通科目	250	300,000
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連(必須)	16	50,000

選択コース	呼吸器(気道確保に係るもの)関連	11	50,000
	呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連	29	80,000
	呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	10	50,000
	創傷管理関連	37	100,000
	動脈血液ガス分析関連	17	70,000
	感染に係る薬剤投与関連	31	80,000
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16	50,000
	循環動態に係る薬剤投与関連	28	80,000
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	35	80,000

パッケージコース	領域別パッケージコース「在宅・慢性期領域」	319	540,000
	領域別パッケージコース「救急領域」	339	620,000

※ パッケージコースは、共通科目を含めた受講料である

※ 区分別科目によっては演習の材料費を別途請求することがある。

※ 研修のための宿泊及び交通費は本人負担となる。

※ 日本看護協会非会員の入学金・受講料は2倍とする。

3. 奨学金のご案内について

本研修は日本看護協会奨学金の対象であり、特定行為研修を受講する全ての認定看護師の方を支援する。手続きについては日本看護協会ホームページでご確認下さい。(2024年度参考)

問い合わせ先: 公益社団法人 大阪府看護協会 教育部 特定行為研修担当
〒536-0014 大阪市城東区鳴野西 2-5-25
TEL 06-6964-5550